

支倉常長フェロー報告書

提出日 2009年05月08日



申請者	氏名	相馬 友和
	所属・職	腎・高血圧・内分泌学分野・大学院生（博士課程）
出張期間	2009年 4月 18日 ～ 4月 25日	
渡航先	アメリカ	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・（ ）	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Low luminal pH aggravates fatty acid-bound albumin induced O ₂ ^{·-} production in renal proximal tubular cells	
得られた成果など	<p>今回、私は支倉常長フェローシップのご援助を頂き、2009年4月18日から4月22日に米国ニューオリンズにて開催された Experimental Biology 2009 (The American Association of Anatomists; The American Physiological Society; American Society for Biochemistry and Molecular Biology; American Society for Investigative Pathology; American Society for Nutrition; American Society for Pharmacology and Experimental Therapeutics 合同学会) に参加し上記演題のポスター発表を行なう機会を得ることができた。</p> <p>腎生理学・活性酸素産生機序の研究を行なっている海外の研究者と議論することができ、また同分野の現在の研究の進歩の状況を肌で感じられたことはいい経験であり、今後の本研究を推進させる上で非常に良い機会となったと考えている。</p> <p>学会参加後、4月22日より24日にウイスコンシン医科大学生理学教室の Allen W. Cowley 教授の研究施設に短期間ではあるが赴き、同研究室で行なっている生理学的実験手法を見学することができた。現在の活性酸素測定系は同研究室で開発されたものであることもあり疑問となっていたところにヒントを得ることができた。また、同研究室の研究成果と比較してわれわれの研究結果を Cowley 教授と議論することができた。これを通じて、われわれの今回の結果で説明が困難であった点に光明を得ることができたことは研究を進めていく上で貴重な財産となったと考えている。</p>	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。

